

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦書原案（概要）

1. 名称

「北海道・北東北の縄文遺跡群」

2. 所在地

北海道 千歳市、伊達市、函館市、洞爺湖町、森町
青森県 青森市、弘前市、八戸市、つがる市、外ヶ浜町、七戸町
岩手県 一戸町
秋田県 鹿角市、北秋田市

3. 暫定一覧表記載年

平成21年（2009年）

4. 概要及び顕著な普遍的価値

北海道・北東北の縄文遺跡群は、紀元前13,000年頃から約1万年間にわたり、日本列島で成立・発展した縄文文化を具体的に示す日本を代表する18の考古学的遺跡群である。

これらは、土器の使用開始による縄文文化の初期の様相を示す遺跡、成熟した社会や生活を具体的に物語る集落遺跡、環境や生業活動の内容を詳細に示す貝塚、祭祀や精神的な活動の拠点となった環状列石や周堤墓、有機質遺物が良好な状態で埋蔵されている低湿地遺跡などで構成し、縄文文化の顕著な遺構・遺物をすべて含んでいる。

さらに、海岸部と内陸部の丘陵地帯、湖沼、河川流域などに立地し、多様な環境への適応の変遷と自然との共生の典型的な姿を示す。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の顕著な普遍的価値

評価基準（iii） 狩猟・採集・漁労を生業の基盤に定住を達成し、成熟した縄文文化へと発展を遂げた先史文化の様相を伝承する無二の存在

- ・ 縄文時代と同時期の世界の他地域とは異なり、本格的な農耕と牧畜を選択せず、狩猟、採集、漁労を生業の基盤とし定住を達成
- ・ 世界最古の一つの土器や漆工芸、日本独特の編組技術、縄文時代以降に影響を与えた竪穴建物構造、北海道・北東北の地で成立した大型竪穴建物、貯蔵穴の発達、土偶の出現や記念物の活発な構築は、物質的、精神的に成熟した縄文文化の発展を示す
- ・ 堀（濠）や防御施設のない協調的、開放的な社会の継続的な形成は、社会的に成熟した縄文文化の発展を示す

評価基準（v） 約1万年間もの長期にわたり、気候変動や環境変化に適応し持続可能な定住を実現した、自然と共生した人類と環境との関わり、土地利用の形態を示す顕著な見本

- ・ 完新世の温暖湿潤の気候のもと、世界的にも希な生物多様性に恵まれた生態系に適応し、約1万年間もの長期にわたって持続可能な定住を実現
- ・ ブナを中心とする落葉広葉樹が広がる自然環境に、クリやクルミ、ウルシなどの有用植物で構成する縄文里山と呼ばれる人為的生態系を成立させ生業を維持
- ・ 人間が自然を大きく改変し特定の作物の収量を確保する農耕や牧畜を生業とする定住とは異なり、縄文里山の成立による持続可能で自然資源の巧みな利用による定住を実現

5. 構成資産

① キウス周堤墓群	(史跡/北海道千歳市/周堤墓/縄文時代後期)
② 北黄金貝塚	(史跡/北海道伊達市/貝塚/縄文時代前期)
③ 入江・高砂貝塚	(史跡/北海道洞爺湖町/貝塚/縄文時代前期～晩期)
④ 鷲ノ木遺跡	(史跡/北海道森町/環状列石/縄文時代後期)
⑤ 大船遺跡	(史跡/北海道函館市/集落遺跡/縄文時代中期)
⑥ 垣ノ島遺跡	(史跡/北海道函館市/集落遺跡/縄文時代早期～後期)
⑦ 大平山元遺跡	(史跡/青森県外ヶ浜町/縄文の起源/縄文時代草創期)
⑧ 田小屋野貝塚	(史跡/青森県つがる市/貝塚/縄文時代前期～中期)
⑨ 亀ヶ岡石器時代遺跡	(史跡/青森県つがる市/低湿地遺跡/縄文時代晩期)
⑩ 三内丸山遺跡	(特別史跡/青森県青森市/集落遺跡/縄文時代前期～中期)
⑪ ニツ森貝塚	(史跡/青森県七戸町/貝塚/縄文時代前期～中期)
⑫ 小牧野遺跡	(史跡/青森県青森市/環状列石/縄文時代後期)
⑬ 大森勝山遺跡	(史跡/青森県弘前市/環状列石/縄文時代晩期)
⑭ 長七谷地貝塚	(史跡/青森県八戸市/貝塚/縄文時代早期)
⑮ 是川石器時代遺跡	(史跡/青森県八戸市/低湿地遺跡/縄文時代晩期)
⑯ 大湯環状列石	(特別史跡/秋田県鹿角市/環状列石/縄文時代後期)
⑰ 伊勢堂岱遺跡	(史跡/秋田県北秋田市/環状列石/縄文時代後期)
⑱ 御所野遺跡	(史跡/岩手県一戸町/集落遺跡/縄文時代中期)

6. 完全性

北海道・北東北の縄文遺跡群は、その顕著な普遍的価値を表すのに必要な要素が全て含まれ、その完全性は確保されている。また、北海道・北東北の縄文遺跡群のこれらの重要性を伝える諸要素、過程を完全に代表した適切な範囲が含まれ完全性が確保されている。

7. 真正性

北海道・北東北の縄文遺跡群は、その顕著な普遍的価値を表すのに必要な要素の形状、意匠(デザイン)、材料、材質、用途、機能、精神、感性などの諸要素について、発掘調査結果により確認されており、真正性が確実に保証されている。

8. 保存状況と資産に与える影響

北海道・北東北の縄文遺跡群について、開発による影響、自然環境の変化、自然災害と危機管理、資産の公開による来訪者による負の影響への対策については、遺跡の整備事業の実施、関係法令等により適切に管理されている。

9. 資産の保護と管理

北海道・北東北の縄文遺跡群は、緩衝地帯を含め、関係法令等及び関係自治体が設置する保存管理体制により、適切な保護と管理がなされている。

さらに、4道県並びに関係自治体で構成する包括的保存管理体制を整備し、18の構成資産全体を視野に入れた総括的な保存管理を推進する。

10. 経過観察(モニタリング)の体制

包括的保存管理計画に保存状況を計測するためのモニタリング指標を定め、各構成資産を所管する自治体において経過観察(モニタリング)を実施する。

11. 包括的保存管理計画（添付）

北海道・北東北の縄文遺跡群の18の構成資産は、それぞれが歴史的遺産であるとともに、連続する資産として顕著な普遍的価値を有することから、これらを一体として適切に保存管理するための具体的な方法を定め、また、連続する資産としての顕著な普遍的価値を適切に保存管理するため、各構成資産の周辺に緩衝地帯を設定し、緩衝地帯の現状に応じた適切な保全方法を定めた。

12. 各構成資産の内容

① キウス周堤墓群（千歳市／縄文時代後期）

縄文時代後期後葉を中心に構築された集団墓。「周堤墓」は、土地を円形に掘り下げ周囲に環状の土を盛った区画の中に遺体を埋葬する墓の形式。周堤墓が、史跡指定地内に8基存在し、外径は45m～75mに達し、他に例のない規模である



② 北黄金貝塚（伊達市／縄文時代前期）

後氷期海進後の海辺の環境に適応した、縄文文化の姿を典型的に示し、貝塚及び盛土遺構の儀礼的・記念物的性格をよく示す重要な遺跡



③ 入江・高砂貝塚（洞爺湖町／縄文時代前期～晩期）

環境変動への適応と生業の進化を具体的に示し、多数の人骨から、縄文人の姿や生活を具体的に示す重要な遺跡



④ 鷺ノ木遺跡 (森町／縄文時代後期)

環状列石の発達過程において、切盛土から独立した石造記念物として完成された段階の姿を示す重要な遺跡



⑤ 大船遺跡 (函館市／縄文時代中期)

縄文文化の居住形態の発達を顕著かつ具体的に示し、建物の構造や屋内施設の構成に高度な象徴性が認められる遺跡



⑥ 垣ノ島遺跡 (函館市／縄文時代早期～後期)

縄文時代早期から後期にかけての拠点集落遺跡で、中でも縄文時代中期末葉から後期初頭に構築された長さ120mに及ぶ「コ」の字形の盛土遺構は、国内最大級の規模。また、足形付きの土版や住居の廃棄儀礼に伴うものとみられる異形土器など当時の精神文化を示す貴重な遺物が多く出土



⑦ 大平山元遺跡 (外ヶ浜町／縄文時代草創期)

日本列島における旧石器時代から縄文時代への移行期の文化様相を示し、縄文文化の起源に関する重要な遺跡



⑧ 田小屋野貝塚 (つがる市／縄文時代前期)

貝類を中心に魚類、鳥類の骨、クジラなどの大型ほ乳類の骨が発見されている。特にベンケイガイの貝輪製作が行われており、縄文時代前期の環境、生業及び生産活動を示す重要な遺跡



⑨ 亀ヶ岡石器時代遺跡 (つがる市／縄文時代晩期)

低湿地からは植物遺体、花粉、昆虫遺体などの有機質遺物が良好な状態で残存するとともに、ヒスイ製の玉類、漆塗製品なども出土し、縄文時代晩期の環境や交流の実態を示す重要な遺跡



⑩ 三内丸山遺跡 (青森市／縄文時代前期～中期)

大規模集落跡で、竪穴建物、掘立柱建物、列状に並んだ墓、盛土遺構、貯蔵穴、道路などが計画的に配置され、有機質遺物も良好に残存し、縄文文化の様相を総合的に解明する上で学術的価値の高い遺跡



⑪ ニツ森貝塚 (七戸町／縄文時代前期～中期)

大規模な貝塚を伴う集落遺跡で、シカ、イノシシなどの獣骨、魚骨、貝類が出土。また、イヌの骨が埋葬された状態で検出されるなど、縄文時代前期～中期の環境、生業、動物との共生を具体的に示す遺跡



⑫ **小牧野遺跡** (青森市／縄文時代後期)

土地の造成、大型石の運搬・配置など、大規模な土木工事、規則的な配石によって構築された環状列石を中心とした遺跡で、縄文時代の精神生活、墓制等を明らかにする重要な遺跡



⑬ **大森勝山遺跡** (弘前市／縄文時代晩期)

縄文時代晩期初頭から中葉にかけて構築された環状列石で、晩期の環状列石が少なく、組石の連続により環状列石が構築される点、列石下部に土坑を伴わない点などで縄文後期の環状列石とは異なる



⑭ **長七谷地貝塚** (八戸市／縄文時代早期)

魚骨、鳥類、ほ乳類の骨や釣り針や銚頭などの骨角器が多数出土し、約 7 千年前の自然環境や漁労を中心とした生業、食生活の情報が得られる重要な遺跡



⑮ **是川石器時代遺跡** (八戸市／縄文時代晩期)

低湿地から赤漆塗りの木製品類、トチノキ、クルミなどが良好な状態で出土し、沢からはアク抜き用の水場も検出され、縄文時代晩期の食生活、漆や木工などの工芸技術を知る上で重要な遺跡



⑩ 大湯環状列石（鹿角市／縄文時代後期）

最大級の規模(直径52mの万座環状列石、直径44mの野中堂環状列石)の環状列石を主体とする遺跡で、太陽運行との関わりを示す重要な遺跡



⑪ 伊勢堂岱遺跡（北秋田市／縄文時代後期）

直径30mを超える4つの環状列石を主体とする遺跡で、環状列石に伴う掘立柱建物、土坑墓が検出されていることや、祭祀に関わる土製品、石製品が多く出土しており、縄文時代後期の祭祀に関する重要な遺跡



⑫ 御所野遺跡（一戸町／縄文時代中期）

大規模集落跡で、焼失住居跡が多く、その調査から土屋根住居が確認されており、建物構造である竪穴建物の上部構造に関する重要な遺跡

